

GXイノベーションを実現する低コスト・長寿命・高性能な唯一無二の次世代フィルム太陽電池の実現



テック分野

事化推進機関： 株式会社ビジョンインキュベイト

研究代表者： 金沢大学 教授 當摩哲也

我々のもつ2つの独自技術により、これらの課題を克服し凌駕する次世代ペロブスカイトフィルム太陽電池を開発する

独自技術1: イオン液体添加技術

① 耐久性

大気中にさらされた状態では数時間程度の寿命しかない

封止なしで6,000時間超の長寿命化

② 製造コスト

高価な封止フィルムを使う競合の手法では製造コストが高くなる

簡易封止フィルムによる低コスト化

独自技術2: 貼り合わせ技術

③ 塗布技術

大面積のフィルムに膜をきれいに塗布する技術が確立されていない

㈱麗光との機器の共同開発

④ 発電効率

単接合フィルムペロブスカイト太陽電池の最高値は約15%

タンデム化による30%超の高効率化



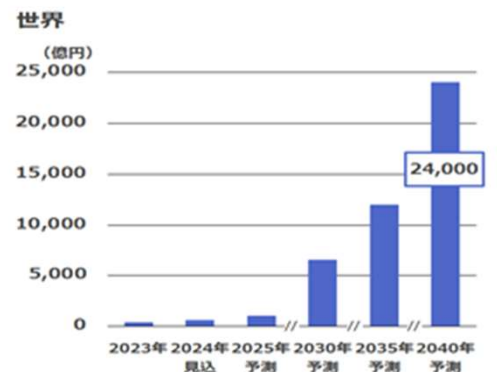
金沢大学 ナノマテリアル研究所 教授

當摩哲也 博士(工学)

TAIMA, Tetsuya Ph.D.

研究開発総括、イオン液体添加技術の検討

- 2023年度は370億円
- 2040年には2兆4,000億円規模に成長する見込み



ペロブスカイト太陽電池の市場

スタートアップ設立予定時期：2026年度

ターゲット市場：グローバル、国内